

2022年2月15日

会社名：株式会社サーキュレーション

コード番号：7379 東証マザーズ

コロナ禍で企業が求める人材要件は 「参画スピード・費用対効果・専門性」 ～企業の半数がプロジェクト単位で働く人材を求めるように～

18,000名以上のプロの経験・知見を複数の企業でシェアし、経営課題を解決するプロシェアリング事業を運営する株式会社サーキュレーション（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：久保田雅俊、以下サーキュレーション）は、プロ人材を含む外部人材を活用したことがある企業に勤める300名を対象にプロ人材活用についてのアンケート調査を実施しました。

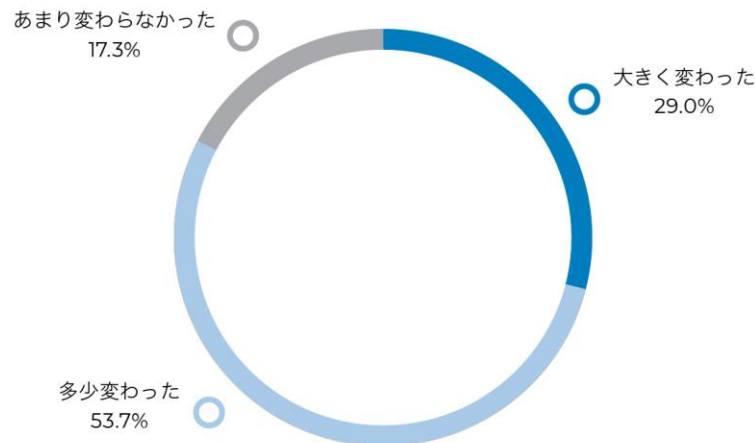
■調査結果概要

- ・ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響により企業の8割が採用方針を変更せざるを得ない状況に
- ・ 企業の半数がフルタイムの労働力より専門性が高くフレキシブルに働く人材活用に注力
- ・ 正社員が採用できないが優秀な人材を活用したい企業の外部人材ニーズが高まる
- ・ 5000人以上の大企業ではそれ以下の企業規模よりも多岐にわたって外部人材へのニーズがあった

■企業の約半数がプロジェクト単位で働く人材を求めるように

コロナ後の採用方針の変化について聞いたところ、8割が「変わった」、さらに約3割の企業が「大きく変わった」と回答しました。

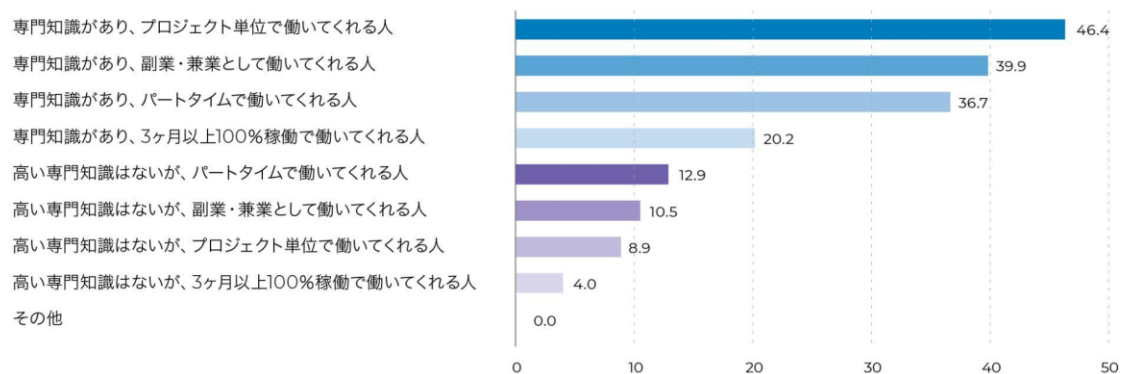
Q13. 2020年以降の、御社の人材戦略についてお伺いします。コロナの蔓延で世界的に働き方の見直しが求められたことによって、あなたが所属する部門またはチームの人材採用に関する方針は、どの程度変わりましたか。(SA)



より採用するようになった人材としては、「専門知識があり、プロジェクト単位で働いてくれる人」が最も多く46.4%を占めました。次いで、「専門知識があり、副業・兼業として働いてくれる人(39.9%)」、「専門知識があり、パートタイムで働いてくれる人(36.7%)」が多い結果となっています。

この結果から、企業ではフレキシブルに働ける、専門性の高い人材の需要が高まっていることが伺えます。

Q14. Q13で「大きく変わった」または「多少変わった」と回答した方にお伺いします。あなたが所属する部門またはチームは、具体的にどのような人材をより採用するようになりましたか。当てはまるものを全てお選びください。(MA)



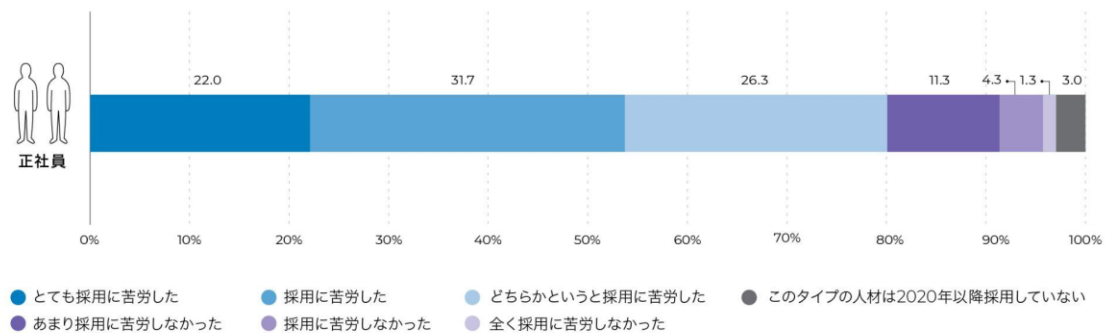
■外部人材活用よりも正社員の採用に苦戦

コロナ禍において企業が採用に最も苦労したのは正社員で、「とても苦労した」または「苦労した」と回答した企業が、全体の半数以上を占める結果となりました。フレキシブルに働く専門性の高い人材の需要が高まる背景として、人材の流動性の高まりと正社員採用市場の苦境がありそうです。

<正社員の採用>

とても採用に苦労した…22.0% 採用に苦労した…31.7%

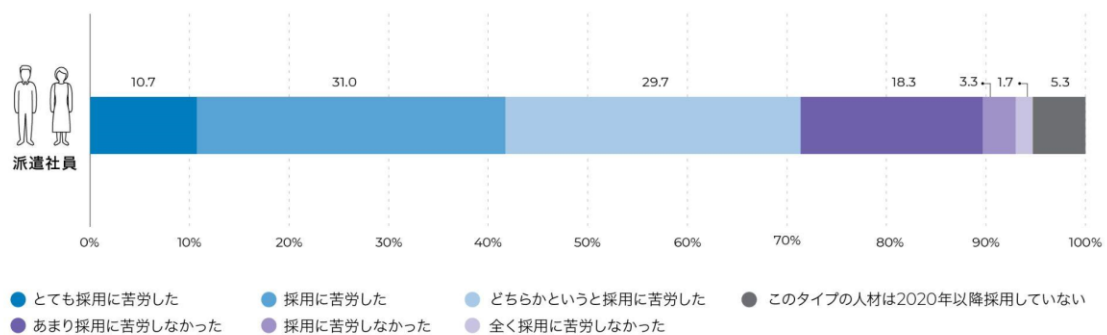
Q15-1. 2020年以降、以下にあげる人材の採用について、当てはまるものをそれぞれ1つずつお選びください。／正社員(SA)



<派遣社員の採用>

とても採用に苦労した…10.7% 採用に苦労した…31.0%

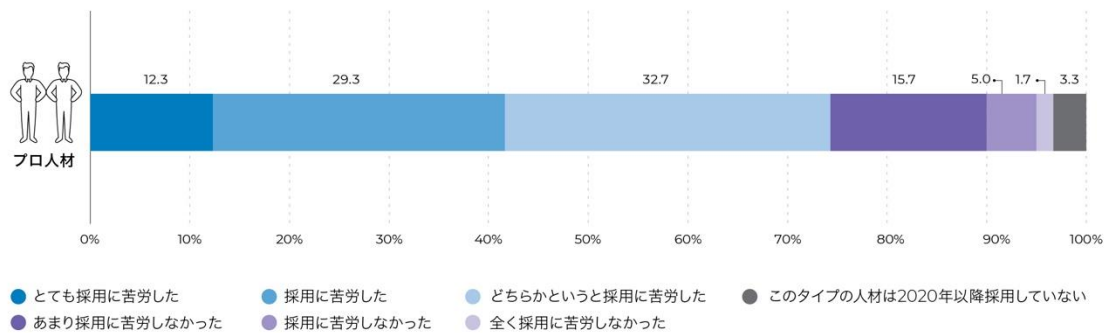
Q15-2. 2020年以降、以下にあげる人材の採用について、当てはまるものをそれぞれ1つずつお選びください。／派遣社員(SA)



<プロ人材の採用>

とても採用に苦労した…12.3% 採用に苦労した…29.3%

Q15-3. 2020年以降、以下にあげる人材の採用について、当てはまるものをそれぞれ1つずつお選びください。／外部の特定の領域のプロ(SA)



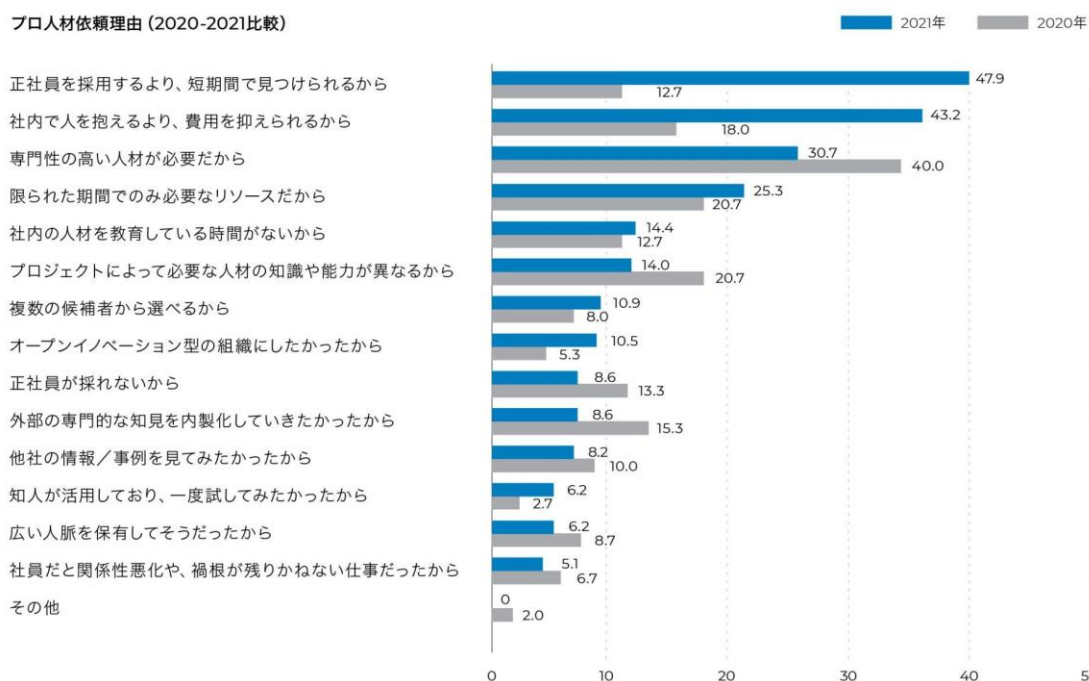
■正社員が採用できないが優秀な人材を活用したい企業の外部人材へのニーズが高まる

実際に業者を経由してプロ人材を含む外部人材を活用したことがある企業では、前回調査（「プロシェアリング白書2020」※）から大きく「外部人材への依頼理由」が変化しました。

コロナ前では「専門性」以外のニーズが少なかったところ、コロナ後の調査では「雇用を超えるスピード」と「費用対効果」「専門性」の3つで高いニーズが示されました。ビジネスに求められる変革の速度が増していると考えられます。

Q1. これまでに、外部のプロに仕事を依頼したことがあると回答された方にお聞きします。あなたの所属する部門やチームが外部のプロに仕事を依頼する理由として、当てはまるものを全てお選びください。(MA)

プロ人材依頼理由 (2020-2021比較)



(※) 「プロシェアリング白書2020」(調査期間: 2019年8月23日~25日)

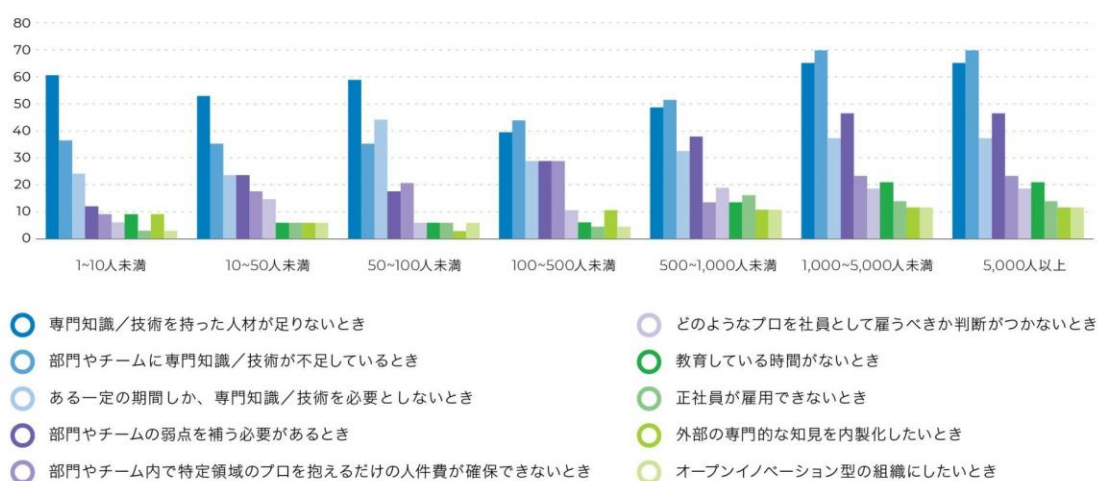
■5000名以上の大手企業での外部人材へのニーズが最も高い結果に

企業規模ごとに詳しく見ていくと、5000人以上の企業規模ではそれ以下の企業規模よりも多岐にわたって外部人材へのニーズが示される傾向がありました。特に「部門やチーム」の専門性や弱点を補う目的で外部人材の活用が検討されています。

数千人が部門に分かれて事業活動を行う大企業においては、社内全体から必要な人材を異動させるだけではなく、外部人材から知見を取り入れる選択肢も現実的であると伺えます。

SC9. あなたの部門またはチームは、どのような時に外部のプロ(個人)または専門企業/専門業者に仕事を依頼またはアドバイスを求めようと思いますか。

外部のプロまたは専門企業/業者への依頼理由 - 企業規模 -



■調査概要

調査期間: 2021年11月26日(金)~11月29日(月)

調査方法: インターネット調査(ディーアンドエム社によるパネル調査)

調査対象: フリーランス、または法人に所属しているが個人でも仕事を受けているプロとしての個人/特定の領域を専門とした企業または業者に対して、仕事を依頼またはアドバイスを求めたことがある会社員

有効回答数: 300名

調査主体: 株式会社サーキュレーション

今回の調査の詳細結果は近日中に公開する予定です。

■プロシェアリングについて

サーキュレーションではこうした正社員での採用が難しい優秀な人材を活用したいという企業のニーズに応える「プロシェアリング」を提供しています。

プロシェアリングを活用し最適なプロ人材と共に進めていくことで、社内のリソースだけで

は解決できなかった経営課題を解決することが可能となります。サーキュレーションは、今後も外部のプロ人材を活用いただくことで、様々な経営課題を解決し、企業の変革の一助を担ってまいります。

お問い合わせは[こちら](#)

【企業概要】

会社名 株式会社サーキュレーション

公式HP <https://circu.co.jp/>

代表者 代表取締役社長 久保田 雅俊

設立 2014年1月6日

所在地 東京都渋谷区神宮前3-21-5 サーキュレーションビルForPro

「世界中の経験・知見が循環する社会の創造」というビジョンのもと、外部プロ人材の経験・知見を複数の企業で活用するプロシェアリング事業を運営しています。高い専門性を有するプロ人材の経験・知見を雇用ではなくプロジェクトベースで活用頂くことで、企業の抱える課題の解決、ミッションの達成を支援します。

18,000名以上のプロ人材のリソースから、企業の経営課題・業界・成長フェーズ・社風・経営における理念・思想を鑑み、企業に最適なプロ人材を選出、課題解決プロジェクトチームを組成します。登録している20代から70代のプロ人材は、インタビューを実施し、独自の人材アセスメントにより、スキル・経験・志向性・人物について適正な評価・知見を蓄積しています。2014年設立以来、導入実績は 3,241社／9,365プロジェクトを数えます。(2021年10月末時点)

【プレスリリースに関するお問合せ先】

株式会社サーキュレーション 広報／竹内

TEL: 03-6256-0467

FAX: 03-6256-0476

Email: public_relations@circu.co.jp